リバーボン785（KW785)高強度せん断補強筋の構造特記仕様書【SABTEC評定24-01】

ＪＦＥテクノワイヤ株式会社

1．一般事項

(1)適用範囲

1) 本仕様書は、リバーボン785を使用する鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造、プレストレストコンクリート造の柱、梁の施工に適用する。

2)リバーボン785は、JFEテクノワイヤ(株)製の大臣認定(認定番号MSRB-9007)の高強度せん断補強筋棒鋼KW785を用いた785N/mm2級高強度せん断補強筋とする。

(2)コンクリート

1) 種類： 普通コンクリート

2) 設計基準強度(Fc)： 21N/mm2以上、かつ、60N/mm2以下

(3)共通事項

本仕様書に記載なき事項は、JASS 5 による。

2．KW785の品質

(1)化学成分

C	Si	Mn	P	S	Cu	Ceq1
0.35以下	0.35以下	1.80以下	0.030以下	0.030以下	0.01以下	0.80以下

Ceq1=C+Mn/6+Si/24+Ni/40+Cr/5+Mo/4+V/14　　（単位：%）

(2)KW785の諸元

呼び名	公称直径 (mm)	公称周長 (mm)	公称断面積 (mm2)	単位質量 (kg/m)
K10	9.53	29.9	71.33	0.560
K13	12.7	39.9	126.7	0.995
K16	15.9	50.0	198.6	1.56

(3)KW785の機械的性質

鋼種	試験片	降伏点または耐力 (N/mm2)	引張強さ (N/mm2)	伸び (%)	曲げ性	
					曲げ角度	折曲げ内側半径
KW785	鉄筋母材	785以上	930以上	8以上	180°	1.5d以上
	溶接試験片			5以上	－	

(注)1) 引張試験片：JIS Z 2241の2号試験片、伸び測定の標点間距離：8×d(公称直径)

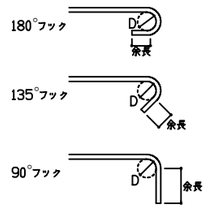
2) 曲げ試験(JIS Z 2248)では、曲げられた外側に亀裂が生じてはならない。

3．リバーボン785の折曲げ加工および溶接

(1)一般事項

リバーボン785の溶接および折曲げ加工は、製造加工メーカーの社内規格による。

(2)リバーボン785折曲げ加工末端部の形状寸法



【フックの余長】

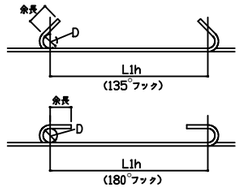
フック形式		
180°	135°	90°
6d	6d	10d

d：横補強筋の呼び名の値(直径)

折曲げ内法直径Dは、4d以上とする。d：リバーボン785呼び名の値

(3)基礎梁横補強筋のフック付き重ね長さL1h

Fc(N/mm2)	L1h
27-30	55d
33-39	50d
42以上	45d



Fc：コンクリートの設計基準強度

L1h：フック付き重ね長さ

d：基礎梁横補強筋の呼び名の値

(4)リバーボン785の加工できる一辺の寸法

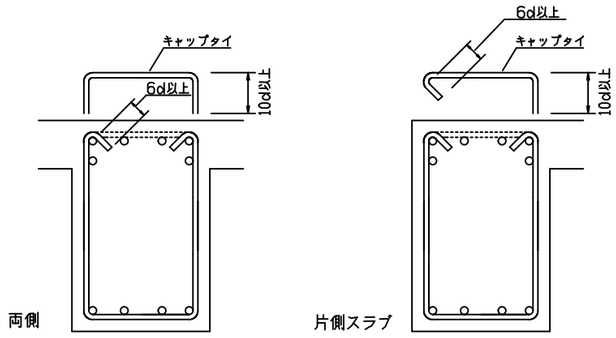
形状	呼び名	製品最小寸法	製品最大寸法
四角形多角形	K10	短辺120mm以上かつ周長1000mm以上	周長8000mm以下
	K13	短辺120mm以上かつ周長1100mm以上	
	K16	短辺200mm以上かつ周長1600mm以上	
形状	K16,K13	直径400mm以上	直径2500mm以下
	K16	直径600mm以上	

(注)dは呼び名に用いる値、許容差は製品の外側寸法とする

4．組み立て

4-1　一般事項

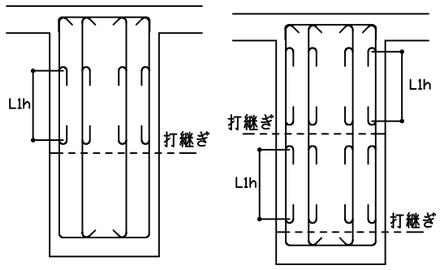
- せん断補強筋は設計図及び施工図に従い正しく配筋し、コンクリートの打ち込み完了まで移動しない様十分堅固に組み立てる。
- フック付単筋を用いる場合はフック位置を交互に配置することを原則とする。
- 溶接閉鎖形筋の溶接部は交互に配置することを原則とする。
- 梁あばら筋で90°ﾌｯｸを使用する場合は、下図のT形梁もしくはL形の梁に限定して使用する。



【キャップタイ型：梁】

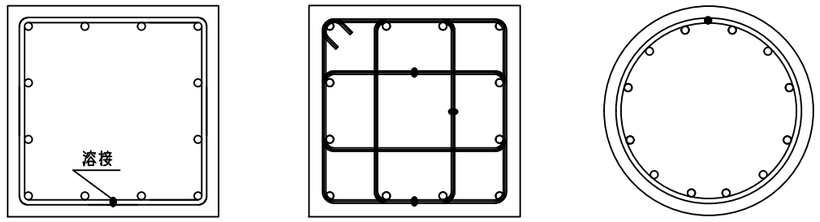
4-2　重ね継手工法

梁せいが1500mm程度以上の基礎梁では、コンクリート打ち継ぎ工事の都度上梁せいの中間にフック付き重ね継手を1箇所あるいは2箇所設ける事ができる。又、フック付き長さはL1hとする。



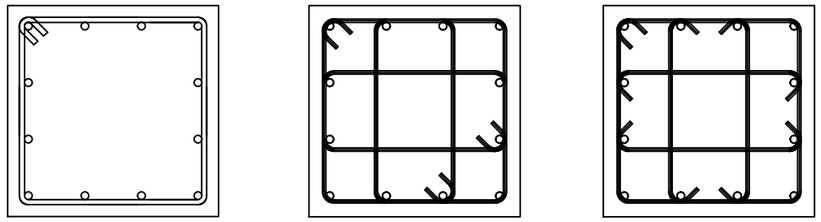
（フック重ね継手）

4-3　形状



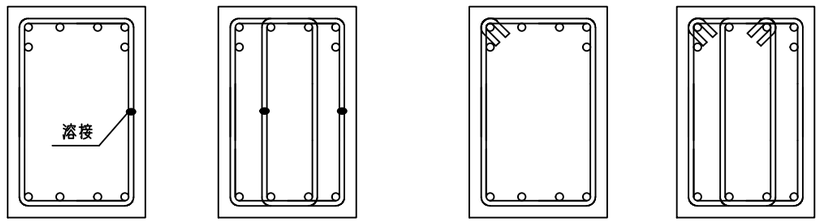
（短形：外周筋）　（短形：中子筋併用）　（円形：外周筋）

【溶接閉鎖型：柱および柱梁接合部】



（短形：外周筋）　（短形：中子筋併用）

【135°フック閉鎖型：柱および柱梁接合部】



【溶接閉鎖型：梁】　【135°フック閉鎖型：梁】

5．その他の施工上の注意事項

1) リバーボン785には現場溶接を行ってはならない。

2) 主筋等の溶接の際、リバーボン785にアークストライク等の過度の加熱を行ってはならない。

3) 曲げ加工したリバーボン785を曲げ戻したり、曲げ位置を変更するような再加工を行ってはならない。

4) リバーボン785の保管時には、直接地上に置いたり、雨、潮風にさらしたり、ごみ、泥、油等で汚さないようする。

5) リバーボン785の組立てに先立ち、コンクリートとの付着を妨げるおそれのある浮き錆、油類、ごみ、泥等は除去する。

記事	承認（管理建築士）	設　計	CAD	作成年月日	工事名	図番
				縮尺	図書名	通し番